

# 自己評価表

愛媛県立丹原高等学校  
(13)

教育方針	人権を尊重し、個性と能力を伸ばす教育活動を展開する中で「生きる力」を育て、知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人材の育成に努める。	重点目標	<p style="text-align: center;">生徒一人一人の豊かな学びの実現 —よりよい進路選択と自己実現のために—</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 確かな学力の育成</td> <td style="width: 50%;">2 生徒の進路実現</td> </tr> <tr> <td>3 豊かな心の育成</td> <td>4 「明るく元気」の創造</td> </tr> <tr> <td>5 信頼される学校づくり</td> <td></td> </tr> </table>	1 確かな学力の育成	2 生徒の進路実現	3 豊かな心の育成	4 「明るく元気」の創造	5 信頼される学校づくり	
1 確かな学力の育成	2 生徒の進路実現								
3 豊かな心の育成	4 「明るく元気」の創造								
5 信頼される学校づくり									

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習習慣の確立 Classiによる家庭学習時間の記録100% ClassiWebドリル解答数延べ40000問</li> <li>○生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導 個別指導教員一人当たり年間1200分以上</li> <li>○ICTを活用した授業の取組 授業時間の10%以上</li> <li>○課外授業の充実 課外授業参加者年間延べ10000人以上</li> </ul>	B	1年67.7% 2年31.4% 3年31.1% 4183問解答(高校4051問、中学132問) 充実した指導を展開している。 (質問しやすい雰囲気生徒86%・個別指導の充実した教職員82%) プロジェクタを3台増やしたり、タブレットでの授業を展開している。 サタデースクール各学年年7回実施し、延べ12950人受講。	5・6・11月にはほとんどの生徒が学習時間の記入をしていたが、そのほかの月は限られた生徒のみになった。教員の積極的なClassi利用の指導とClassiの課題の利用をさせる。  ICTを利用した授業の定着が見られた。引き続き取り組みたい。
	自己の考えを深化させ表現できる能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○対話的・主体的な深い学びの授業の取組 授業時間の10%以上</li> <li>○総合的な学習の時間での課題研究 発表ポスター数40枚以上</li> </ul>	A	各教科とも、問題解決につながる授業の展開をしている。 1年生全員(218枚)2年生班毎(50枚)作成し、ポスターセッションを実施。	総合的な探究の時間で、1・2年生に基礎ゼミを行いポスターセッションまで実施した。1年生は基礎ゼミ、2・3年生はプロゼミで実施し、より充実したものにしていきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒の進路実現	生涯を見通した人生の設計を行う能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリアパスポートノートの効果的な活用 キャリアパスポートノート活用率 100%</li> <li>○早い段階での進路指導の明確化 進路希望未定者数各学年 0 人</li> </ul>	B	<p>進路講演会や大学・企業見学、総学の研究で全員活用している。</p> <p>進路未決定者(1月8日現在) 1年 16名 2年 7名 3年 0名</p>	キャリアパスポートの効果的な活用の検証を行い、1年次からの進路指導の充実を図りたい。
	よりよい進路選択を主体的に行える能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適切な進路情報の提供 生徒・保護者の肯定的な学校評価 80%以上</li> <li>○就職希望者の職場体験の充実 肯定的な生徒アンケート 80%以上</li> <li>○より高い志をもった進路選択の実現 就職希望 100%実現 国公立大学 18 名合格 松山大学 25 名合格</li> </ul>	A	<p>よくできた(A)、大体できた(B)と回答した生徒 91% 保護者 89% (A)・(B)と回答した生徒 79%</p> <p>就職希望 100%実現 国公立大学 21 名合格 (3月12日現在) 松山大学 11 名合格 (3月12日現在)</p>	国公立 15 名 (生徒数の割合 H30 年度 23.6%、H31 年度 21.4%)、松山大学 20 名を目指したい。また、4月から自習室が満席になるよう、活用の充実を図りたい。
豊かな心の育成	人間としての在り方の自覚を醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の確立 1 か年皆勤率 60%以上</li> <li>○生徒・教職員の気持ちのよい挨拶 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上</li> </ul>	A	<p>1年 53.7% 2年 59.6% 3年 59.2%</p> <p>(A)・(B)と回答した生徒 82% 保護者 95% 教職員 91%</p>	継続した基本的な生活習慣の確立の指導と挨拶の励行を行っていききたい。
	人生をよりよく生きようとする態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動等の体験活動の自主的・積極的参加 ボランティア活動参加者延べ 500 人以上</li> </ul>	A	<p>柿摘みボランティア等普通科 132 名、寄せ植え教室等園芸科学科 480 名参加</p>	普通科生徒の参加が増加した。より一層充実を図りたい。
	他者への思いやりや感動する心など豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権侵害を「しない・させない・許さない」指導 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上</li> <li>○学校行事の真剣な取組 生徒・教職員の肯定的な学校評価 90%以上</li> </ul>	A	<p>(A)・(B)と回答した生徒 90% 保護者 91% 教職員 94%</p> <p>(A)・(B)と回答した生徒 85% 教職員 94%</p>	<p>引き続き、関連団体との連携を深め、人権・同和教育の充実を図りたい。</p> <p>生徒が主体的に企画・運営できる学校行事の充実を図りたい。</p>

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
明るく元気の創造	積極的にチャレンジする心身ともにたくましい生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動への加入率の向上と活動の充実 部活動加入率 90%以上</li> <li>○積極的な資格、検定試験、コンテストへの応募等の励行 延べ300人以上</li> <li>○より高いレベルの大会の出場 県総体 80人、高文祭 60人以上</li> </ul>	B	部活動加入率 88.5%  語彙・読解力検定、英語検定、フラワーデザイン検定を中心に、340名の生徒が資格試験やコンテストに参加した。 県総体 63名 高文祭 19名	部活動の意義や役割を説明し、部活動の活性化を図りたい。 農業・商業関係の資格試験の励行をしたい。  県総体 80名、高文祭 50名以上の出場を目指したい。
	地域貢献できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園芸科学科を核とした地域の方が参加できる事業の充実 菊花展 1000人、苗販売 500人以上 園芸講習会 40回以上</li> <li>○グローバル G.A.P. 認証取得に園芸科学科、普通科の生徒の積極的な関与 取得に関する生徒 50人以上</li> </ul>	A	菊花展 1761名 苗販売 500名(販売件数 365件) 園芸講習会 48回  普通科 2名 園芸科学科 21名	校内で開催する講習会を増やし、丹原高校の良さをアピールしたい。  他の作物での取得を目指すとともに、20名の生徒が台湾での研修参加するため、興味・関心を高めさせたい。
信頼される学校づくり	教職員自らの資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員研修の充実 校内研修会 3回以上実施、校外研修会参加延べ 40人以上</li> <li>○組織的な授業改善 授業研究実施 10回以上</li> </ul>	B	校内研修会 5回実施 延べ 60名参加  授業研修 7回実施	1週間程度の相互授業研修、公開授業参観を年 3回実施し、引き続き授業改善に努めたい。
	安全・安心な教育環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育相談体制の充実 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上</li> <li>○校内施設・設備の整備 施設整備実施 30か所以上</li> <li>○防災マニュアルの適切な運用 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上</li> <li>○生徒の自己管理能力の向上と登下校中の事故をなくす 事故発生件数 0件</li> </ul>	B	(A)・(B) と回答した生徒 86% 保護者 89% 教職員 89%  50か所修繕  (A)・(B) と回答した生徒 82% 保護者 92% 教職員 91%  事故件数 5件	校内研修を行い、支援を要する生徒のきめ細かい指導の充実を図りたい。 校舎の老朽化が目立つため、県への要望を行いたい。 安全で安心な学校生活を送れるよう安全意識の高揚を高めるとともに、生徒の防災士の取得を年 5名にしたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
	積極的な情報収集・発信による開かれた学校づくり	○生徒健全育成・活性化協議会からの学校改善 生徒・保護者・教職員の肯定的な学校評価 90%以上 ○ホームページによる積極的な情報発信 ホームページアクセス数 1 日平均 500 以上	B	(A)・(B) と回答した生徒 75% 保護者 80% 教職員 88%  1 日平均 400 件以上	外部からの意見を聞き、学校改善を図りたい。 保護者や地域の方々への魅力ある情報の発信を行い、開かれた学校づくりに努めたい。